

京都私立病院協会嚥下食一覧表

施設名		洛陽病院		
学会分類 2013(※)	食事の名称	形態	食事の特徴	写真
0j	嚥下開始食	ゼリー状のもの	お茶ゼリー、市販のフルーツゼリーなど離水が少なくスライス状にして摂取できるもの。	
0t	嚥下開始食	とろみ水・とろみ茶		
1j		ゼリー状・ムース状・プリン状のもの	口腔外ですでに適切な食塊状となっているたんぱく質を含む	
2-1		主食は重湯とろみ メイバランスminiとろみなど	なめらかで均質で、べたつかず、まとまりやすいもの。さらさらとしている。	
2-2	半流動食(ペースト状)	主食は粥ミキサーとろみ 副食はペースト状(とろみつき)のもの	べたつかず、まとまりやすいもの 不均質なものも含む。ざらつきがある。 (食材に肉や魚を使ったミキサー食を含む。)	
3	半流動食(プリン状)	主食は粥ミキサープリン 副食はゼリー状・ムース状・プリン状のもの	形はあるが、押しつぶしが容易、食塊形成や移送が容易。咽頭でばらけず嚥下しやすいように配慮されたもの。舌と口蓋間で押しつぶしが可能なもの。	
4	軟々菜	主食は三分、五分、七分粥、全粥または軟飯 副食は軟菜食より柔らかく調理したもの。 刻みが必要な場合は個人に合わせて対応可	かたさ、ばらけやすさ、貼りつきやすさなどのないもの。箸やスプーンで切れるやわらかさのもの	